

## 大塚化学、3D プリンタベンチャーの グーテンベルクと資本業務提携

3D プリンタと材料技術の共創で社会課題の解決へ

大塚化学株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：土佐浩平、以下大塚化学）と 3D プリンタを開発する株式会社グーテンベルク（本社：東京都大田区、代表取締役：李丞株、以下グーテンベルク）は、2023 年 8 月に資本業務提携に合意しました。3D プリンタと材料技術の共創に取り組み、現在の製造業が抱える社会課題を解決する 3D プリント技術を追求し、持続可能な未来を実現するイノベーションを促進してまいります。

グーテンベルクは 3D プリンタの社会実装により、低炭素化やサプライチェーン問題などの社会課題の解決を目指しています。2022 年 6 月に販売開始した FFF 式 3D プリンタ「G-ZERO」などを通じて先進的な 3D プリント技術を普及し、試作プロセスや治具設備の低コスト化・高速化を実現しています。一方、「素材の力を顧客と共に創造的に、かたちにする会社」を掲げる大塚化学は多種多様な分野での材料展開を行っています。2016 年より産業用途の 3D プリント向け材料を開発し、市場でのニーズを獲得しています。

本提携により、3D プリンタ本体と機能性プラスチック材料の技術開発という両社の特色を最大限に活かした事業展開が可能となります。すでに同様の材料を使用した同形状の 3D プリント品と比較して 20%もの強度向上を実現するなど、大きな成果が得られています。機械と材料の両面からの研究開発により、さらなる強度向上、機能性材料の出力、3D プリント独自の材料の開発、品質保証に繋がっていきます。

2024 年上半期には共同開発による新機種および新しい高機能フィラメント（3D プリンタ向け材料）の市場投入を予定しています。従来、機械や材料単体のアプローチでは、3D プリント用途は既存製造業に求められる生産性や品質に至ってきませんでした。3D プリント用途を従来プラスチック成形法の代替や、金型不要の新しい生産方式として確立するべく、邁進してまいります。

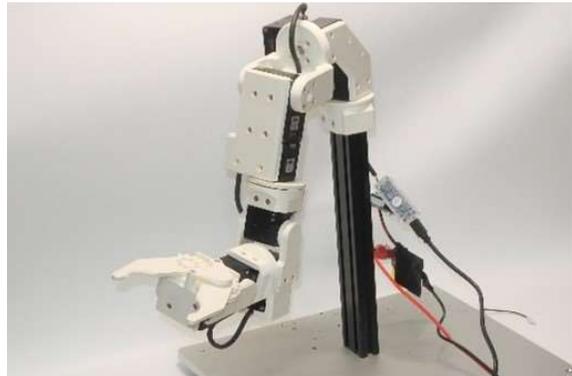


写真.ゲーテンベルクの3Dプリンタ(左)と大塚化学のプラスチック材料で製作されたロボットアーム(右)

#### 会社概要

##### 大塚化学株式会社(Otsuka Chemical Co., Ltd.)

設 立 : 1950年8月29日  
資 本 金 : 50億円  
代 表 者 : 代表取締役社長 土佐 浩平(とさ ひろよし)  
本 社 所 在 地 : 〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27  
従 業 員 数 : 506名(2022年12月31日現在)  
事 業 内 容 : 化学品の製造販売

#### 会社概要

##### 株式会社ゲーテンベルク(Gutenberg Co., Ltd.)

設 立 : 2021年2月22日  
資 本 金 : 2700万円  
代 表 者 : 代表取締役 李丞株(り すんじゅ)  
本 社 所 在 地 : 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目19-4 kyokutou3F  
従 業 員 数 : 6名(2022年12月31日現在)  
事 業 内 容 : 3Dプリンタ事業(開発、製造、販売、出力サービス)